

国史跡盛岡城跡

第45次調査現地説明会

史跡整備に伴う本丸地区の発掘調査

令和5年10月28日(土)

もりおかじょう 盛岡城は、初代盛岡藩主の南部信直と、その子で2代藩主の利直が、慶長2年(1597) かんえい 頃から寛永10年(1633)の間、約40年もの歳月をかけて築いた南部氏の居城です。城はきたかみがわ なかつがわ きゅうりょう ひらやましろ そとほり 旧北上川と中津川の合流点の丘陵に位置する平山城で、両河川を天然の外堀として利用しました。

めいじいしん りくぐんしょう 明治維新後、盛岡城は陸軍省の所管となります。城内建物の保存も考えられましたが、荒廃が進み維持が難しいことから、明治7年(1874)に建物のほとんどは取り壊されました。その後、公園整備の計画が進められ、明治39年(1906)に「岩手公園」の名称で開園。いわてこうえん 昭和12年(1937)には、江戸の当時を思い起こすような、雄大な石垣が良好に残されていることから、国指定史跡に指定されました。

盛岡市では、歴史遺産を保存し、市民の憩いの場の整備・活用を推進するため、平成24年(2012)に「史跡盛岡城跡整備基本計画」を策定し、これに基づく発掘調査を平成25年(2013)から開始しました。本丸地区については、令和元年(2019)から発掘調査を実施しており、大切な史跡である盛岡城跡を守り伝えていくために、建物跡や遺物(当時使われていたかわら 瓦や陶磁器など)の調査・保存を行っています。



盛岡城跡 本丸地区

●構造

お城の中で最も重要な場所が本丸です。盛岡城本丸の規模は、南北 70m・東西 67m で、城内で最も標高が高く（約 143m）、眺望^{ちやうぼう}が開けた位置にあります。本丸北面と二ノ丸南面の間には堀があり、現在は朱塗りの橋がかけられていますが、江戸時代にはこの橋に屋根^{ろうかばし}がかけられており、「廊下橋」と呼ばれていました。残りの三方は腰曲輪^{こしくるわ あわじまる}（淡路丸）に囲まれており、東側には「御末御門（御本丸御門）」がありました。

●本丸御殿

本丸の平地面には、藩主のお屋敷や政治を執り行う場所である「本丸御殿^{ほんまるごてん}」がありました。江戸時代後期の資料を見てみると、1階約 116 室、2階約 45 室、3階約 10 室を数え、ほぼ隙間なく建物^{すきま}が立ち並んでいたことがわかります。

本丸御殿には、「御奥^{おおく}」「御側^{おそば}」「御末^{おすえ}」などと呼ばれる建物がありました。奥は城主のお屋敷、側は城主が日常の行政事務を見るところ、末は奥向に勤める女性たちが居住する場所を指します。

●改変箇所について

盛岡城は明治 39 年(1906)に「岩手公園」として開園しますが、その際にいたるところを改変しています。本丸は石土居^{いしどい}が整備され、南辺部には、腰曲輪^{こしくるわ}からの移動をしやすいための石段が設けられました。中央部には南部利祥中尉^{なんぶとしながちゆうい}の功績^{こうせき}を称え、騎馬像^{たて}が建てられましたが、太平洋戦争末期の昭和 19 年(1944)4 月、日本政府の要請に応じて、銅像^{てっさ}本体と周囲^{ぐんじゆ}を囲む鉄鎖^{てつさ}を軍需資材として提供します。そのため、現在の本丸中央部には台座のみが残っています。

第 45 次発掘調査成果

調査期間 令和 5 年 8 月 22 日～9 月 8 日

調査場所 本丸地区南西部

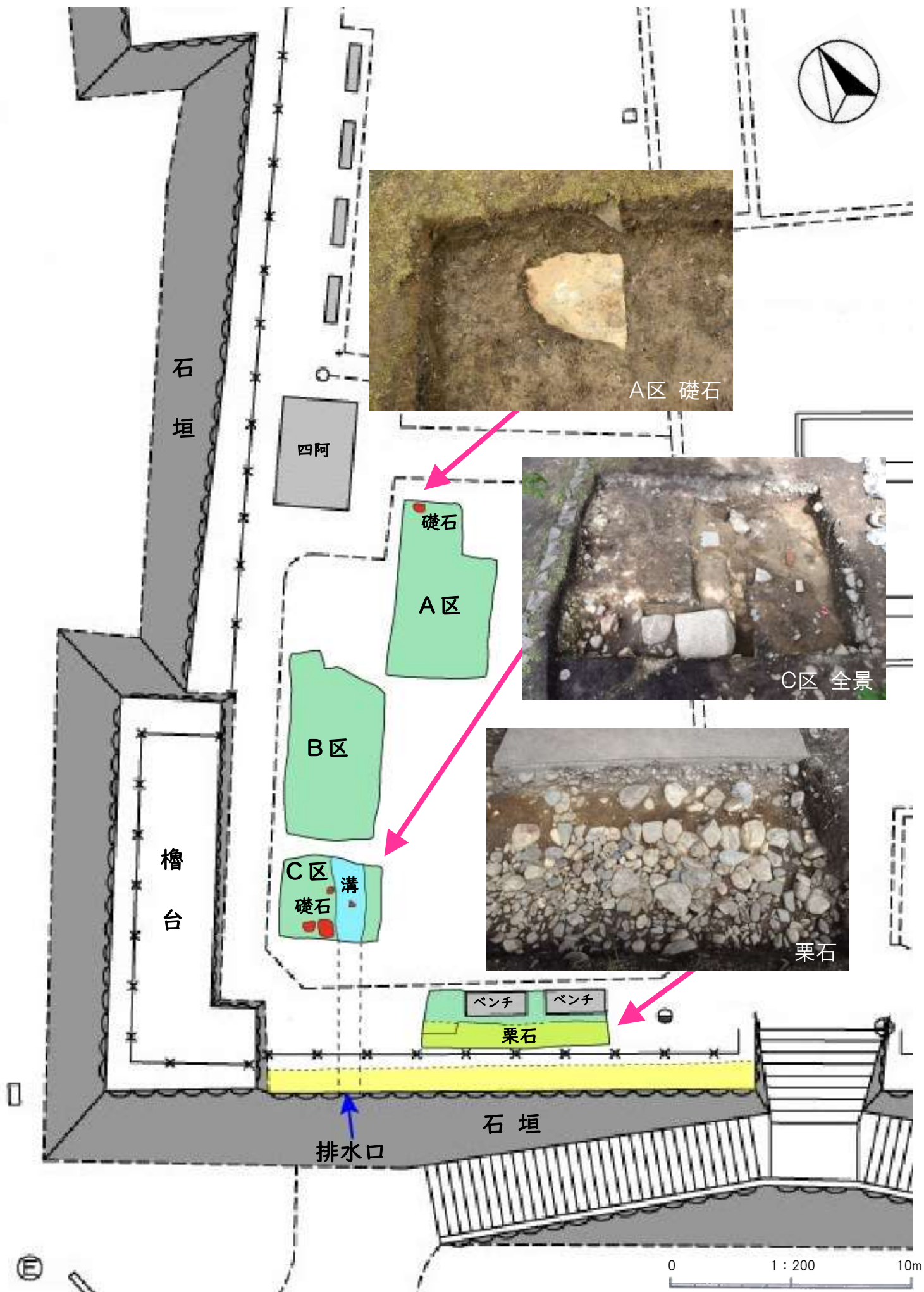
調査面積 79.13 m²

検出遺構 礎石、溝跡、本丸南面石垣栗石層

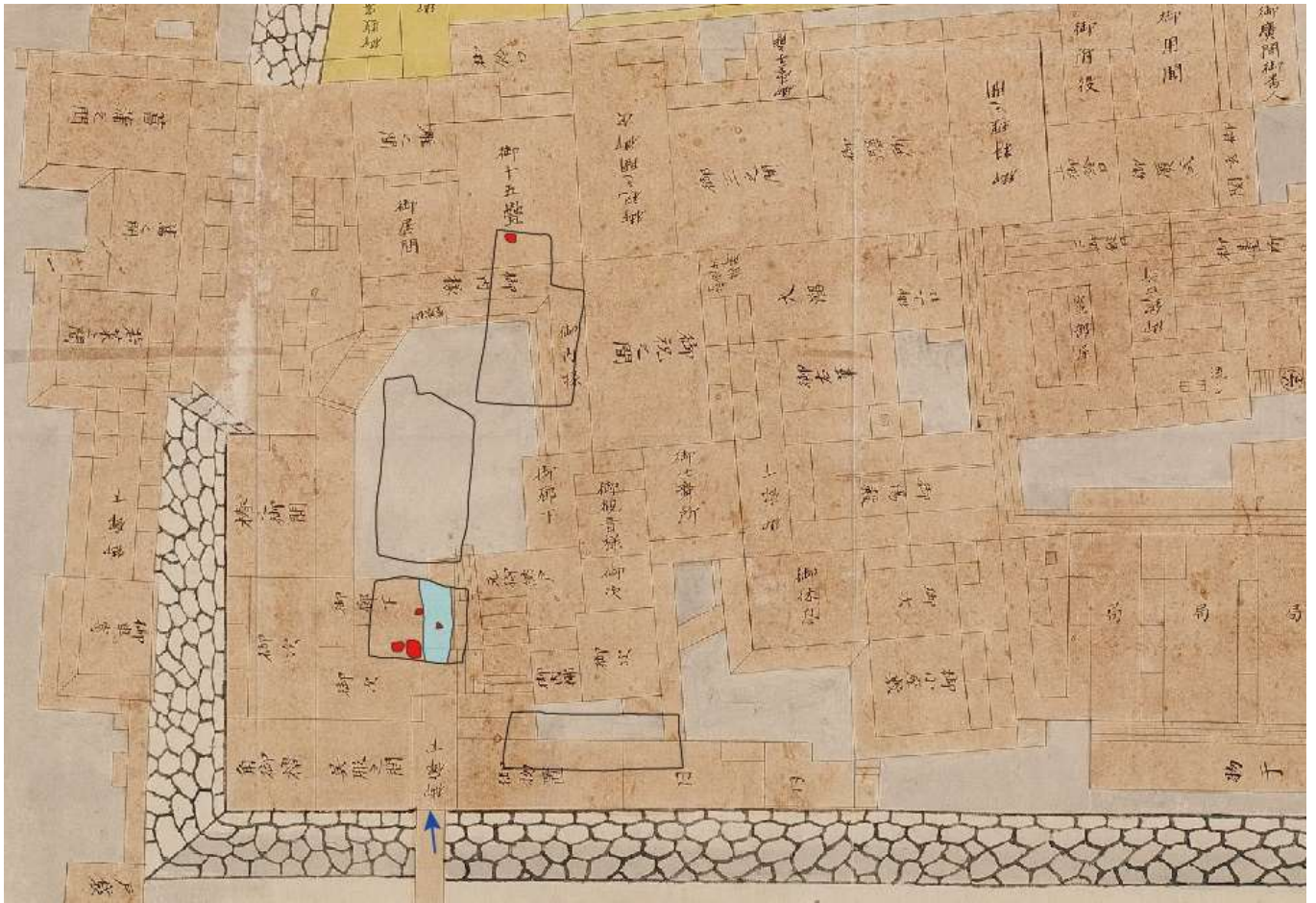
出土遺物 軒丸瓦、丸瓦、平瓦、古銭、鉄製品

調査成果 今年度は、本丸地区南西部に A～C の 3 区を、本丸南面石垣背面に 1 区を設定し、調査しました。A 区北端部からは本丸御殿の基礎と考えられる礎石が確認されました。江戸末期の絵図と照合すると、「御十五畳」があった辺りです。

南面石垣背面の調査では、石垣の裏込めである栗石層を確認しました。このうち、東側部分では、栗石層とその背面の盛土層の境に大き目の栗石を直線的に並べてありました。栗止め石と考えられます。



盛岡城本丸地区第 45 次調査全体図 (S=1 : 200)



『盛岡城明細図』（一部抜粋、江戸時代末期）



石土居（いしどい）：石垣よりも小規模な石罫・石土手のこと。盛岡城本丸では、石垣内側に巡らせていた。

曲輪（くるわ）：城の一区画のこと。堀や土塁、石垣などで区画された空間。

腰曲輪（こしくるわ）：主要な曲輪の周りにより低く設けられた、細長い曲輪のこと。

礎石（そせき）：建物の下に土台としてすえる石。

平山城（ひらやまじろ）：小高い山（丘）と周辺の平地を含めて築かれた城。山の上に築くことで得られる防御性と、平地に築くことで得られる利便性の両方を兼ね備える。

櫓（やぐら）：物見や倉庫、武器庫として使われた建築物。盛岡城本丸では、4隅に
こなんどやぐら すみやぐら にかいやぐら さんかいやぐら
 「小納戸櫓」「隅櫓」「二階櫓」「三階櫓」があった。



盛岡市 遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1

Tel. 019-635-6600 Fax. 019-635-6605 E-Mail: iseki@city.morioka.iwate.jp

HP: <https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/>

[kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html](https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html)



学び館キャラクター みっけ